

「オープンサロン」(第1回 作戦会議)

日時■平成20年10月30日(木) 19:00～ 場所■(財)横浜開港150周年協会 会議室

◆質問と答え

▽本登録はどのようになるか？

→あらためて用紙を配布する

→11月末ごろに仮登録をしている方には郵送する

→ベイサイド市民参加のホームページからもダウンロードできるようにする

▽下見はできるか？

→11月12月中に下見日を設定する

▽審査はあるのか？

→何をやってもいいわけではない。

公序良俗に反しないこと、営利目的でないことなど一定の審査基準は設け、募集要項にはその旨記載する。開港150周年を祝うものであればよい。

▽開港150周年のイベントとしてふさわしくないとされる企画をどうするか？

→表現の仕方はいろいろあると思う。「多様な」ということを正面から受け止めて頂きたい。歴史、夢など、それぞれの表現で「祝う」ことを考えて欲しい。

▽本登録の際に、企画の開催日は1日単位か？ 3日続けるなど可能か？

→希望を受けてから検討・調整することになるだろう

→申込期間中にも提出して頂いたら、早めにヒヤリングをして調整したい

▽仮登録と本登録の内容が違ってもいいか？

→問題ありません。

▽希望日・会場が重なった場合、抽選などするのか？

→提案を受けてから調整する。くじ引きなどで決定する場合も想定される。

▽希望がある日に集中することがあるだろう。不公平にならないような工夫は？

→日程は第3希望までだしてもらおうなどして、その中でできるだけ調整していきたい。

期間によるテーマ設定との調整もしていきたい。

▽協会が「絹の道」の企画を実施すると聞いた。同様の企画を考えているが、連携できるか？

→「絹の道」については協議会をつくって議論している。実施内容の詳細は、現段階では固まっていない。具体的な企画があるのでれば協議会に対して提案することは可能だろう。

▽開港当時の元町の文化のことなどを伝える企画を検討している。ヒルサイド、ベイサイド、マザーポートなどの既存の企画と連携できる可能性はあるか？

→「始まりの森」という会場で地域の方々と連携して、横浜の歴史についての企画を検討中。具体的な提案があれば、調整していきたい。

▽赤レンガ倉庫2階のギャラリーで、一度に参加できる団体はどれくらいか？

→現在はまだ案の段階。日数も面積も限られているので、希望を受けて調整したい。展示やワークショップは大さん橋会場も検討して欲しい。

▽希望日を決めるにしても、他団体のことなど全体像が見えない。同じようなテーマで参加希望している人などの情報を知りたい

→次回12月5日6日には、既に希望している団体の企画内容についても共有する方向。現時点の状況は近いうちに知らせたい。

▽3つのジャンル・グループで芸能関係の企画を考えている。宣伝は自分たちで行うのか？

→主催者側では、メディア等に向けた広報や、WEBなどを通じて宣伝をする。個別にも集客に向けた取り組みをお願いしたい。

▽自分でつくった作品などを販売することはできるか？

→販売は基本的に可能だが、こちらで営利目的(ビジネス)と判断した場合は不可。

▽企画を提案・実施する上で、主催はどこになるのか？ 参加する個人(団体)なのか？

→事業全体は、財団法人横浜開港150協会が主催する。個々の企画はそれぞれが主催するという形。実施内容については、個別参加者が責任を持つ形になる。

▽企業などから借りてきた展示物に、企業名が入っていてもかまわないか？

→営利目的は基本的に不可だが、個別に検討することになるだろう。

▽横浜区民ミュージカル連絡会、神奈川区民ミュージカルで、神奈川宿をテーマにミュージカルをやってきた。市の方から、この事業を150周年の事業の中で、やることを提案された。個別の事業企画の提案が決定されるのはいつか？ 企画の実現には準備期間が必要。1月中に決まるのか？

→2月初旬には決まる。提案者の独自性を大事にしながら調整していきたい。

◆ イベント名称について

ヒルサイドは「市民創発」

FUNEプロジェクトなどは「市民参加」 ……では、ベイサイドは？

案1 「市民協宴」

案2 「市民協演」

案3 「市民協催」

◆質問と答え

▽赤レンガホールには、袖幕、文字幕などを設置するか？

→予定にはない。今後調整する

▽資料を電子データで頂けるか？

→ハマっち！にupしてある

▽やりたいことは自由なのか？体験型で参加者を巻き込んだり、トークショーなどの参加型の企画でもいいのか？

→危険なこと、営利目的、政治・宗教活動、施設の使用のルールに反さない、公序良俗に反さない限り大丈夫。

▽登録の締切は？

→12月末。募集要項・申請用紙は11月末ごろに用意する。サロン参加者にはお知らせする。

▽ロゴの使用はできるのか？

→150周年協会に申請し、許可をもらえれば使用できる。協会のホームページに詳細は掲載してある。

<<http://www.yokohama150.org/>>

「たねまる」の使用も同様。ロゴを使用できるのは、2月初旬の参加が決定後。

12月末が申請の締切、その後、調整して参加団体を決定する。2月の初旬まで調整はかかるだろう。ただ、早めに決定できる場合もあり得る。なるべく早めに決定するようにしたい。

▽現在の仮登録で出ている企画の内容を知りたい。

→現在の申込内容は、12月5日・6日のサロンで発表したいと考えている。フラダンス、芝居、ミュージカル、写真展、ダンス、お花・お茶、その他いろいろ出ている。

▽ベイサイド市民参加の中で、「写真・映像での記録」で参加したい。プロセスを広く市民に知らせたい。

→会期中の記録だけでなく、プロセスをできるだけ公開したいと考えている。このサロンもネット中継をしている。録画した映像をホームページで見ることができる。

▽ウィークリーテーマ

→キーワードから、さらにつながりを見つけて欲しい。「NEXT横浜」は、未来の横浜のこと。さきの未来、明日のことなど。

▽赤レンガの3Fホールの使用可能な時間は？

→現在まだ、確定はしていない。赤レンガ倉庫の基本的な使用時間は10時～22時。展示などは10時から19時20時ごろまでと想定している。ホール使用の場合、終演が21時頃ではないか。

周辺の有料会場でも夜間のプログラムがある。

▽赤レンガ倉庫の座席はどうなる？

→ステージは基本設定を使い回したいが、座席は調整できるだろう。ひな壇型の座席を使えるようにするかどうかは検討中。ひな壇型の客席を設置するのに費用がかかる。

費用負担ができるのであれば、使える。ステージの高さは70cm。基本設定以外の高さにするには、費用がかかる。予算・申込状況などで今後調整したい。